



小 / 算数 / 4年 / 数と計算 /
わり算 / 理解シート

見当をつけた商を，小さくする場合はあるの

ポイント▶ (3けた) ÷ (2けた) の筆算でも，見当をつけた商を直して，正しい商を見つける場合があります。また，どんな場合でも，見当をつけた商を直す場合があります。



270 ÷ 34 の筆算を試みよう。

- ① 27は34より小さいから，商は一の位に立ちます。
- ② 商の見当をつけます。
34を30とみる。270 ÷ 30 → 9 と見当をつける。
- ③ 筆算をして，正しい商を見つけます。

わられる数が，3けたでも，見当をつけた商を直す場合があるんだよ。

ア

$$\begin{array}{r} 9 \\ 34 \overline{) 270} \end{array}$$

- 9を一の位に立てる

イ

$$\begin{array}{r} 9 \\ 34 \overline{) 270} \\ \underline{306} \end{array}$$

- 34 × 9 = 306。306を270の下にかく。270 から306はひけない。



ウ

$$\begin{array}{r} 8 \\ 34 \overline{) 270} \\ \underline{272} \end{array}$$

- 9を1小さくして，8を立てる。34 × 8 = 272。270の下に272をかく。270から272はひけない。

2回も直しがあるんだよ。



エ

$$\begin{array}{r} 7 \\ 34 \overline{) 270} \\ \underline{238} \\ 32 \leftarrow \text{あまり} \end{array}$$

- 8をさらに1小さくして，7を立てる。34 × 7 = 238。238を270の下にかいて，ひく。

● 答え
7あまり32